



marantz®

Integrated Amplifier PM8006

- 記載内容は予告なく更新される場合があります。
最新の取扱説明書は、WEB マニュアルをご覧ください。

<http://manuals.marantz.com/PM8006/JP/JA/>



取扱説明書

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

目次

使用上のご注意	4
携帯電話使用時のご注意	4
お手入れについて	4
結露(つゆつき)について	4
付属品	5
乾電池の入れかた	6
リモコンの使いかた	6
特長	7
高音質	7
多彩な機能	8
簡単操作	8
各部の名前	9
フロントパネル	9
リアパネル	11
リモコン	13

接続のしかた

スピーカーを接続する	17
スピーカー A/B 接続	19
バイワイヤリング接続	20
再生機器を接続する	21
録音機器を接続する	22
プリアンプやパワーアンプを接続する	23
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	24
マランツ製オーディオ機器をリモート接続する	24
電源コードを接続する	25

再生のしかた

電源を入れる	27
電源をスタンバイにする	27
音声を出力するスピーカーを選ぶ	28
入力ソースを選ぶ	28
音量を調節する	28
一時的に音を消す(ミュートイング)	28
音質を調節する	29
CD を再生する	29
録音する	30

設定のしかた

オートスタンバイモードを設定する	32
オートスタンバイモードをオンにする	32
オートスタンバイモードをオフにする	32
パワーアンプダイレクトモードを設定する	33
パワーアンプダイレクトモードをオンにする	33
パワーアンプダイレクトモードをオフにする	33

困ったときは

こんなときの解決方法	35
故障かな？と思ったら	36
電源が入らない / 電源が切れる	37
リモコンで操作ができない	38
音がまったく出ない	39
希望する音が出ない	39
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	40
保証と修理について	41

付録

用語の解説	43
主な仕様	44
索引	47

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケット




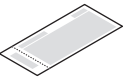
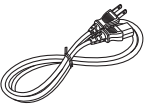
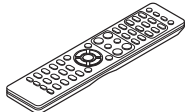



- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

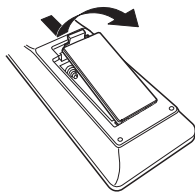
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

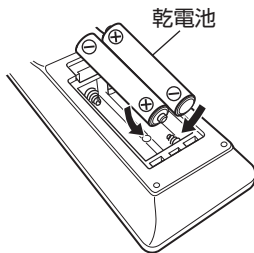
 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>取扱説明書(本書)</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>保証書</p>
 <p>電源コード【本機専用】</p>	 <p>リモコン (RC001PMND)</p>	 <p>単4形乾電池(2本)</p>	

乾電池の入れかた

- 1 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



- 2 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



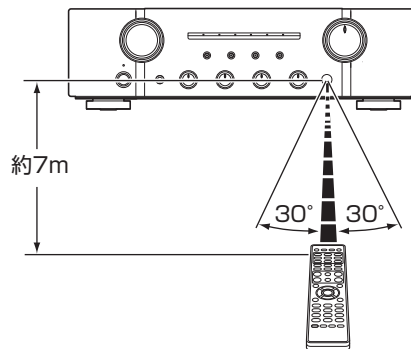
- 3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



特長

高音質

• フルディスクリット・電流帰還型アンプ

本機のプリアンプとパワーアンプにはディスクリット部品で構成されたマランツ独自の電流帰還型回路を採用しています。上級機で培った技術を取り入れたハイスピードアンプです。

• HDAM[®]SA3 モジュール

HDAM[®]SA3 は、電流帰還型アンプの要となるアンプモジュールです。最重要部である電圧から電流変換部に搭載し、回路の安定度を向上させ、ハイスピードサウンドを支えます。

• 瞬時電流供給能力の向上

スペックが同じアンプでも音質が違ふことは一般的に知られていますが、マランツではその原因をスピーカーのドライブ能力の違いにあると考えています。本機のパワーアンプは瞬間的に45A以上の電流を流す能力を持っていますので、スピーカーを強力にドライブします。

• ショート・パワー・ライン・レイアウト

瞬時電流供給能力を向上させるために電源回路とパワーアンプの出力段を一体化したショートパワーラインレイアウトを採用しています。

このレイアウトは大電流ラインを最短で結び、左右対称になるよう配置しています。

• CD ダイレクト・バッファー・アンプ

CD 入力端子には端子の直近に CD 専用の入力バッファーアンプを搭載しています。このバッファーアンプはディスクリット構成の高速バッファーアンプで、左右チャンネルの干渉を防ぎ信号を忠実にプリアンプに伝送します。

• 新開発のフォノイコライザー回路

MM カートリッジ用フォノイコライザーアンプには、PM8006 用に新開発したフォノイコライザー回路を搭載しました。

- **2重シールド・トroidalトランス**

電源トランス特有の振動と漏洩磁束の少ないトroidal型電源トランスを搭載しました。特に音質に悪影響を及ぼす漏洩磁束を抑えるため、外周にコアリングとショートリングの2重シールドを施しています。

- **大容量ブロック電解コンデンサ**

パワーアンプ用電源回路に上級機を思想を採り入れ新開発した18000 μ Fの大容量コンデンサを搭載しています。

- **振動による音質への悪影響を排除するトリプルレイヤードボトムプレート**

多彩な機能

- **トライ・トーンコントロール機能**

低音域、高音域に加え、中音域の強弱を調節するトーンコントロール機能を搭載していますので、ソースやシステムにあわせて好みの音質に調節できます。(P.29ページ)

- **パワーアンプダイレクトモード**

パワーアンプダイレクトモードでは、本機はパワーアンプとして動作します。

- **2系統スピーカー出力端子搭載**

スピーカーA/スピーカーBの2組のスピーカーを駆動するのはもちろん、高域・低域用に入力端子が分かれたパイワイヤリング対応のスピーカーにも接続できます。(P.20ページ)端子には太めのスピーカーケーブルでも確実に接続できるスクリュー式を採用しました。

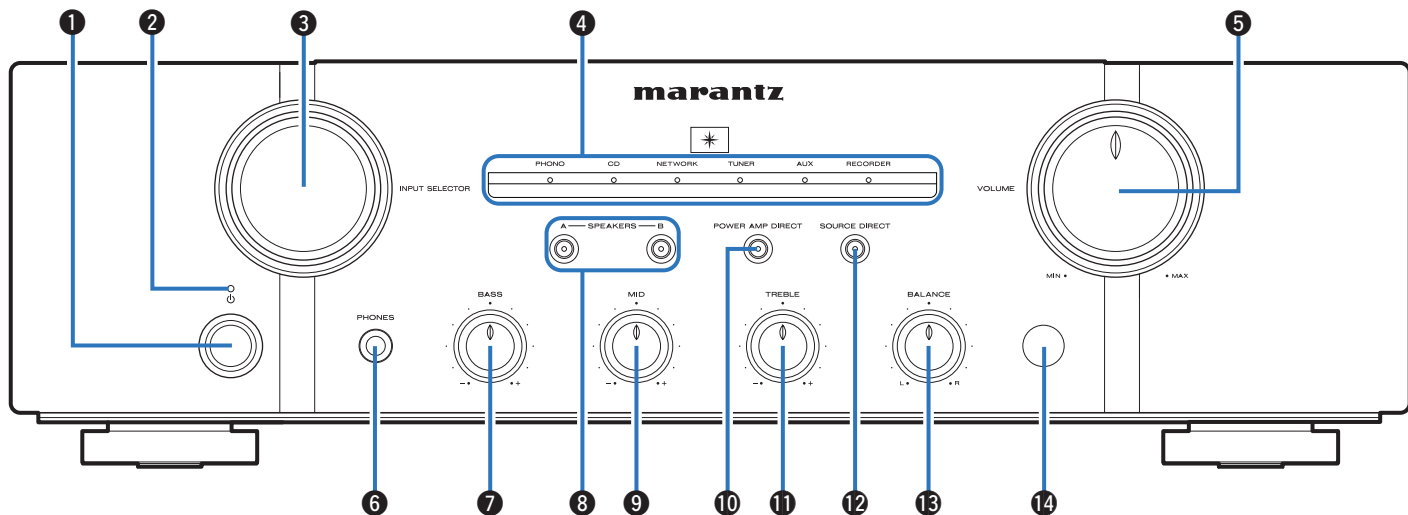
簡単操作

- **システムリモコンを付属**

マランツ製ネットワークCDプレーヤーND8006の操作もできるシステムリモコンを付属しています。

各部の名前

フロントパネル



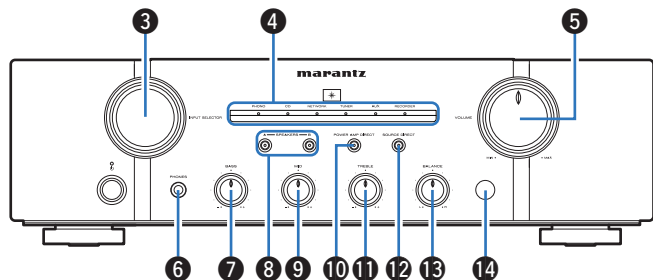
① 電源ボタン(⏻)

本機の電源をオン/オフします。(P.27ページ)

② 電源表示

電源の状態によって、次のように点灯します。

- 電源オン時: 消灯
- スタンバイ時: 赤色
- 電源オフ時: 消灯



③ 入力ソース切り替えつまみ (INPUT SELECTOR)

入力ソースを切り替えます。(☞ 28 ページ)

④ 入力表示 (☞ 28 ページ)

⑤ 音量調節つまみ (VOLUME)

音量を調節します。(☞ 28 ページ)

⑥ ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンをご使用になるときは、スピーカーの出力をオフにしてください。

ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⑦ 低音調節つまみ (BASS)

低音の音量を調節します。(☞ 29 ページ)

⑧ スピーカー切り替えボタン/表示 (SPEAKERS A/B)

音声を出力するスピーカーを選びます。(☞ 28 ページ)

⑨ 中音調節つまみ (MID)

中音の音量を調節します。(☞ 29 ページ)

⑩ パワーアンプダイレクトボタン/表示 (POWER AMP DIRECT)

パワーアンプダイレクトモードのオン/オフを切り替えます。(☞ 33 ページ)

⑪ 高音調節つまみ (TREBLE)

高音の音量を調節します。(☞ 29 ページ)

⑫ ソースダイレクトボタン/表示 (SOURCE DIRECT)

ソースダイレクトモードのオン/オフを切り替えます。(☞ 29 ページ)

⑬ バランス調節つまみ (BALANCE)

左右のスピーカーから出力する音量のバランスを調節します。(☞ 29 ページ)

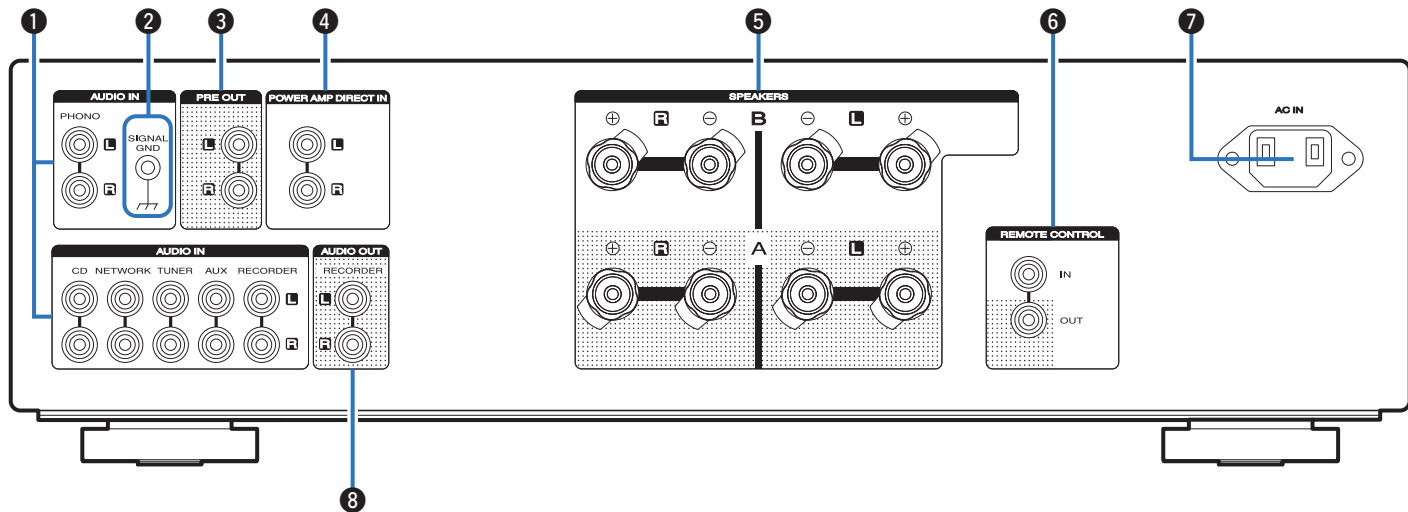
⑭ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(☞ 6 ページ)



- ⑦、⑨、⑪ および ⑬ は ⑫ が消灯 (ソースダイレクトモードがオフ) のときに調節できます。

リアパネル



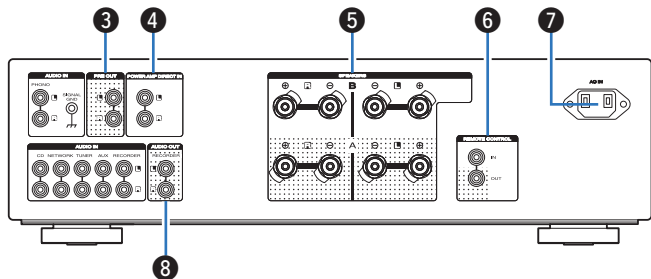
① アナログ音声入力端子(AUDIO IN)

アナログオーディオ端子付きの機器を接続します。

- 「再生機器を接続する」(☞ 21 ページ)
- 「録音機器を接続する」(☞ 22 ページ)

② アース端子(SIGNAL GND)

レコードプレーヤーのアース線を接続します。
(☞ 21 ページ)



③ プリアウト端子(PRE OUT)

パワーアンプやサブウーハーを接続します。(☞23 ページ)



- サブウーハーを接続する場合、お手持ちのサブウーハーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

④ パワーアンプダイレクト入力端子 (POWER AMP DIRECT IN)

本機をパワーアンプとしてご使用になる場合に、プリアンプを接続します。(☞23 ページ)

⑤ スピーカー端子(SPEAKERS)

スピーカーを接続します。(☞17 ページ)

⑥ リモートコントロール入出力端子(REMOTE CONTROL)

リモートコントロール機能に対応しているマランツ製オーディオ機器を接続します。(☞24 ページ)

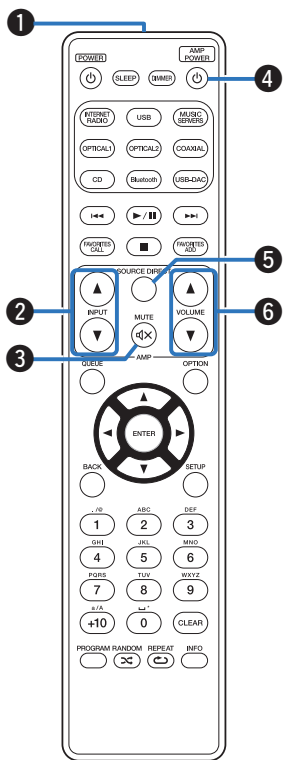
⑦ AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(☞25 ページ)

⑧ アナログ音声出力端子(AUDIO OUT/RECORDER)

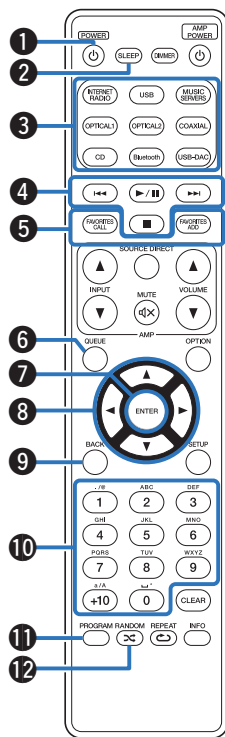
録音機器の入力端子を接続します。(☞22 ページ)

リモコン



■ 本機の操作

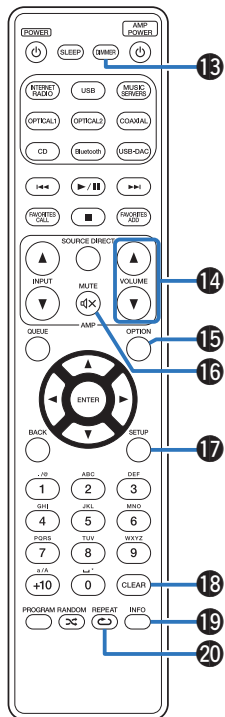
- ① リモコン信号送信窓**
リモコンの信号を送信します。(P.6 ページ)
- ② 入力ソース切り替えボタン (INPUT ▲▼)**
入力ソースを切り替えます。(P.28 ページ)
- ③ ミュートボタン (MUTE \times)**
消音します。(P.28 ページ)
- ④ 電源ボタン (AMP POWER ϕ)**
本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)します。
(P.27 ページ)
- ⑤ ソースダイレクトボタン (SOURCE DIRECT)**
ソースダイレクトモードのオン/オフを切り替えます。
(P.29 ページ)
- ⑥ 音量調節ボタン (VOLUME ▲▼)**
音量を調節します。(P.28 ページ)



■ ネットワーク CD プレーヤーの操作

マランツ製ネットワーク CD プレーヤーを操作できます。

- ① 電源ボタン(POWER ϕ)
- ② スリープタイマーボタン(SLEEP)
- ③ 入力ソース選択ボタン
- ④ システムボタン
 - スキップボタン(\lll , \ggg)
 - プレイ/ポーズボタン(\triangleright / \parallel)
 - ストップボタン(\blacksquare)
- ⑤ お気に入り呼び出し/登録ボタン
(FAVORITES CALL / ADD)
- ⑥ キューリスト呼び出しボタン(Queue)
- ⑦ エンターボタン(ENTER)
- ⑧ カーソルボタン(Δ ∇ \triangleleft \triangleright)
- ⑨ バックボタン(BACK)
- ⑩ 数字ボタン(0~9、+10)
- ⑪ プログラムボタン(PROGRAM)
- ⑫ ランダムボタン(RANDOM \rightleftarrows)



- ⑬ ディマーボタン(DIMMER)
- ⑭ 音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)
- ⑮ オプションボタン(OPTION)
- ⑯ ミュートボタン(MUTE $\text{d}\times$)
- ⑰ セットアップボタン(SETUP)
- ⑱ クリアボタン(CLEAR)
- ⑲ インフォメーションボタン(INFO)
- ⑳ リpeatボタン(REPEAT c)



- 一部操作ができない製品もあります。
- ⑭ と ⑯ はリモコン操作モードがネットワーク CD プレーヤー操作モードのときにのみ、はたらきます。詳しくは、マランツ製ネットワーク CD プレーヤーの説明書をご覧ください。

接続のしかた

■ 目次

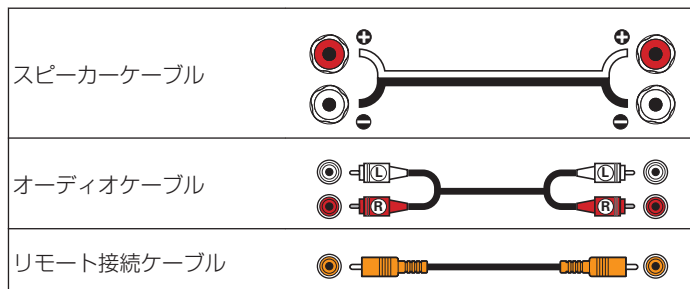
スピーカーを接続する	17
再生機器を接続する	21
録音機器を接続する	22
プリアンプやパワーアンプを接続する	23
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	24
電源コードを接続する	25

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。



スピーカーを接続する

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。(「保護回路」(P.43 ページ))
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは次のインピーダンスのものをお使いください。

ご使用になる本機のスピーカー端子	接続するスピーカー数	スピーカーインピーダンス
SPEAKERS A (標準的な接続)	2本(1組)	4~16Ω
SPEAKERS B	2本(1組)	4~16Ω
SPEAKERS A および SPEAKERS B	4本(2組)	8~16Ω
SPEAKERS A および SPEAKERS B (バイワイヤリング接続時)	2本(1組)	4~16Ω

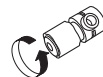
■ スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+ (赤)、- (白)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

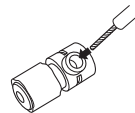
- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。



- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。



4 スピーカー端子を右に回して締める。

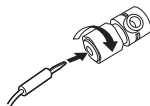


Y ラグ端子



バナナプラグの場合

端子を右に回して締め付けてから挿入する。

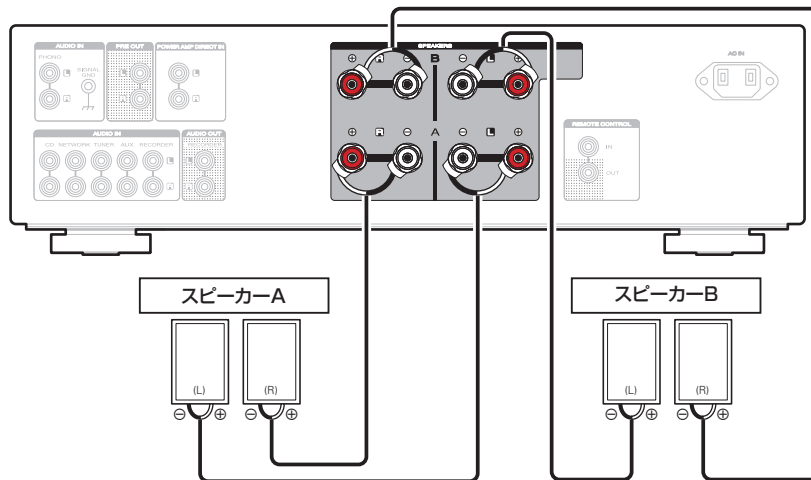


スピーカー A/B 接続

本機には、2 系統のスピーカー端子(SPEAKER A および SPEAKER B)があります。それぞれに 1 組ずつ、最大 2 組のスピーカーを接続できます。

SPEAKERS A 端子および SPEAKERS B 端子からは同じ信号を出力します。

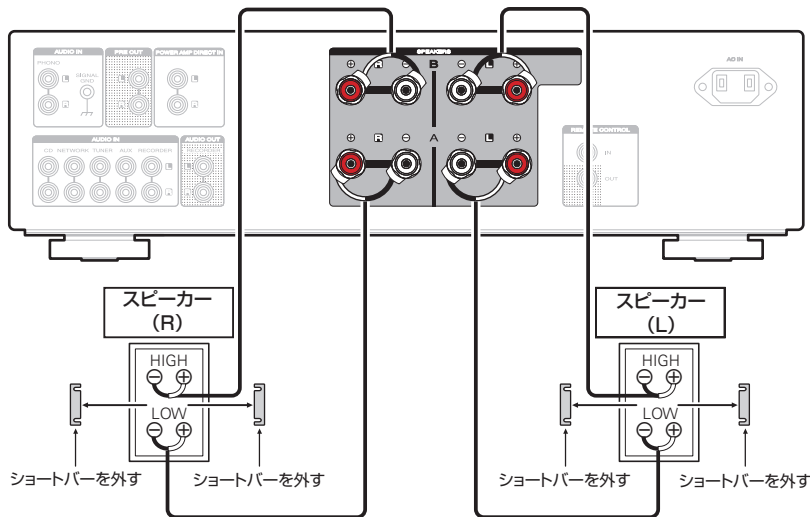
スピーカーを 1 組のみ接続するときは、SPEAKERS A または SPEAKERS B 端子のどちらかに接続してください。



バイワイヤリング接続

この接続では高域用スピーカー(ツイーター)と低域用スピーカー(ウーファー)間の信号が干渉することによる音質への影響をおさえることができるため、高品位な再生をお楽しみいただけます。

バイワイヤリング接続に対応しているスピーカーの高域用入力端子と SPEAKERS B(または SPEAKERS A)を、低域用入力端子と SPEAKERS A(または SPEAKERS B)をそれぞれ接続してください。

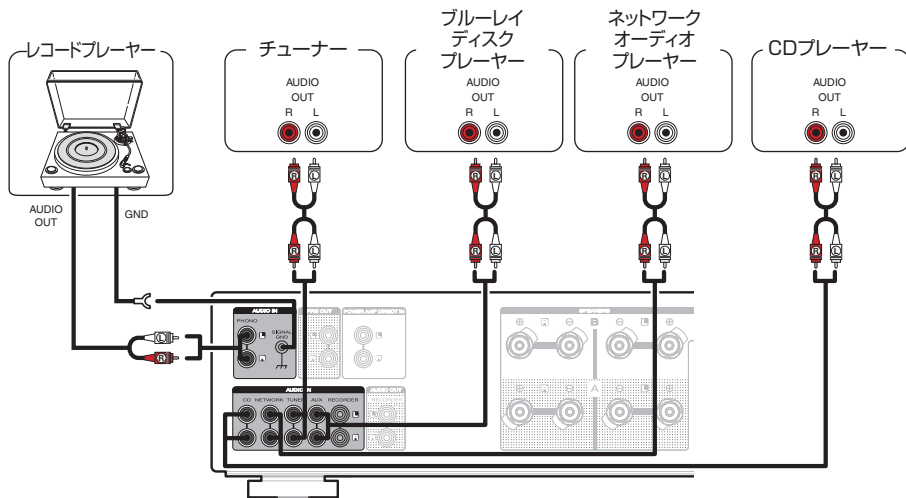


再生機器を接続する

本機には、レコードプレーヤー、チューナー、ブルーレイディスクプレーヤー、ネットワークオーディオプレーヤーおよび CD プレーヤーを接続できます。

本機は、MM カートリッジ付きのレコードプレーヤーに対応しています。MC カートリッジ付きのレコードプレーヤーを接続する場合は、別売りの MC ヘッドアンプまたは昇圧トランスを使用してください。

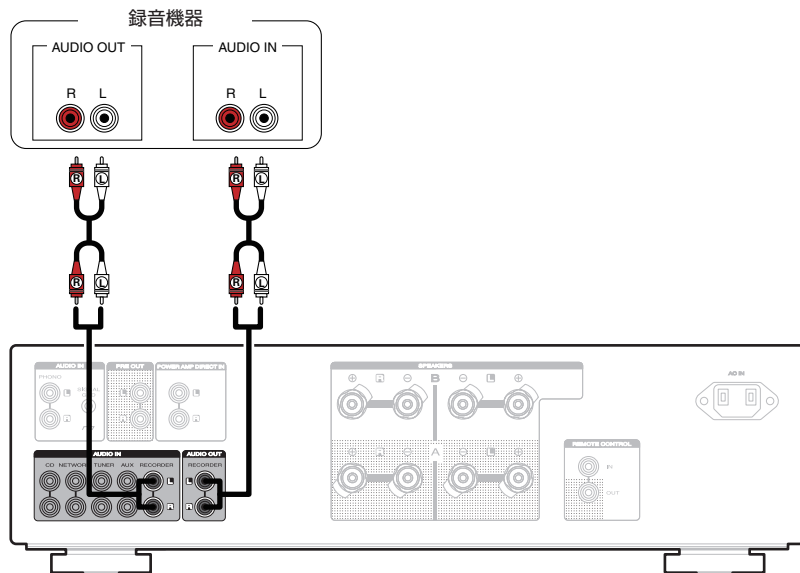
本機の入カソースを“PHONO”にし、レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げると、“ブーン”という雑音が発生することがあります。



ご注意

- 本機のアース端子(SIGNAL GND)は、安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減できます。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆に雑音が大きくなる場合があります。この場合は、アース線を接続する必要はありません。

録音機器を接続する

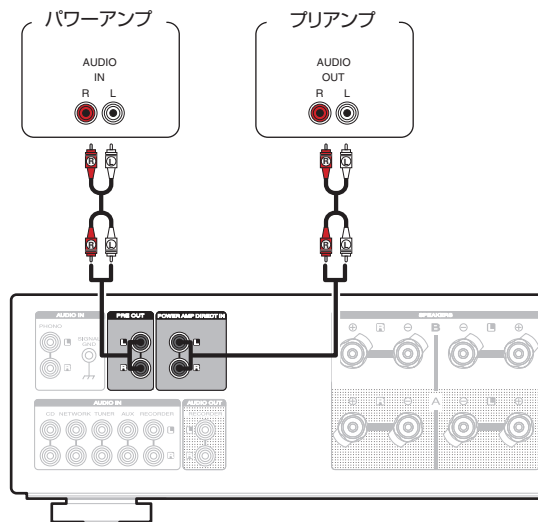


ご注意

- アナログ音声出力端子(AUDIO OUT/RECORDER)にショートピンプラグを挿入しないでください。故障の原因になります。

プリアンプやパワーアンプを接続する

パワーアンプを接続して本機をプリアンプとして使ったり、プリアンプを接続して本機をパワーアンプとして使ったりすることができます。



- プリアンプを接続して本機をパワーアンプとしてお使いの場合は、パワーアンプダイレクトモードをオンに設定してください。(P.33 ページ)

ご注意

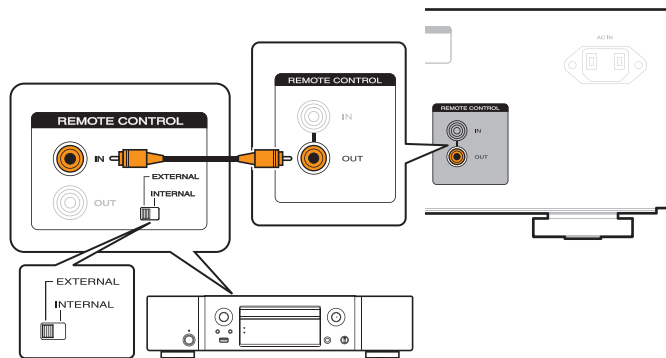
- プリアウト端子(PRE OUT)にショートピンプラグを挿入しないでください。故障の原因になります。

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

マランツ製オーディオ機器をリモート接続する

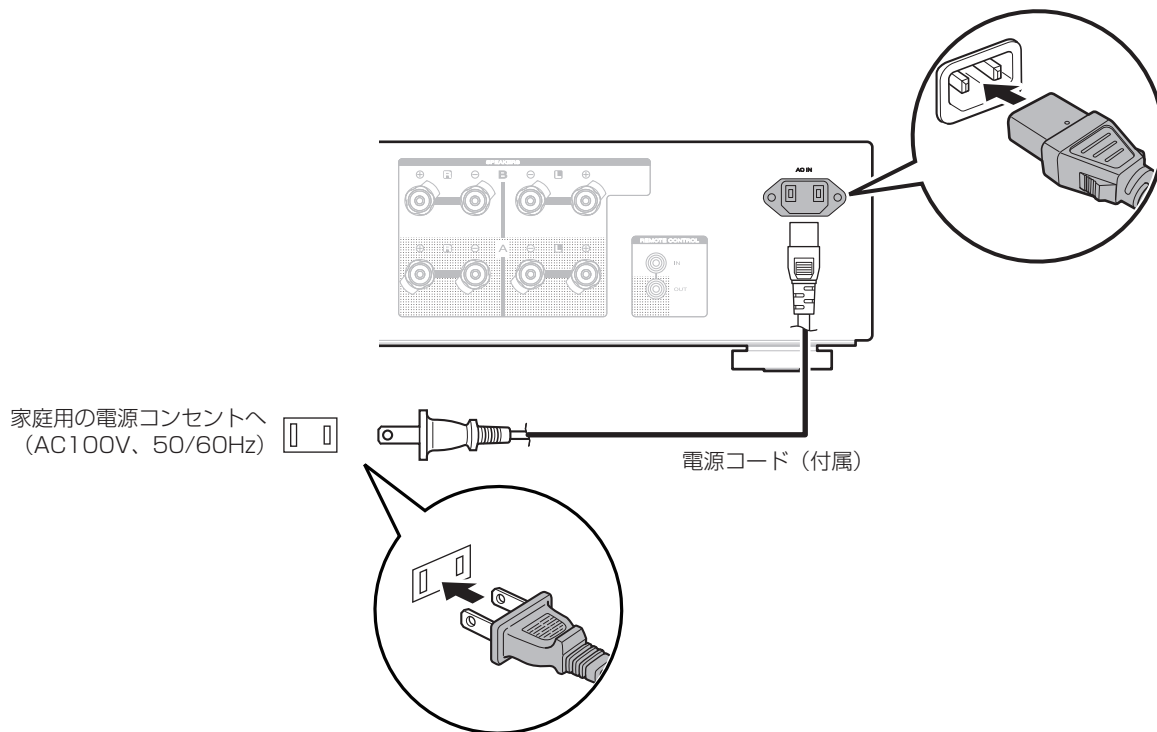
マランツ製オーディオ機器に付属しているリモート接続ケーブルを使用して REMOTE CONTROL IN/OUT 端子に機器を接続するだけでリモコン信号を転送できます。

この接続をおこなう場合は、本機と接続する機器の背面に装備されているリモートコントロールスイッチを “EXTERNAL” に設定してください。



電源コードを接続する

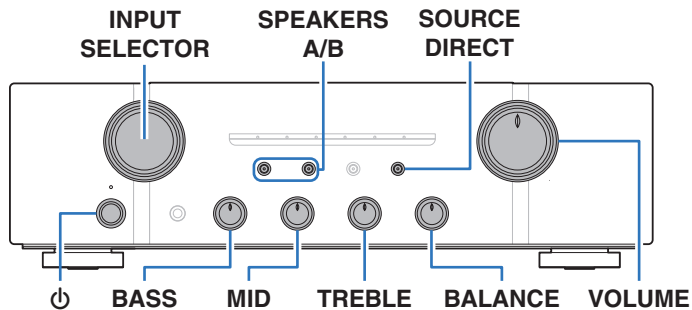
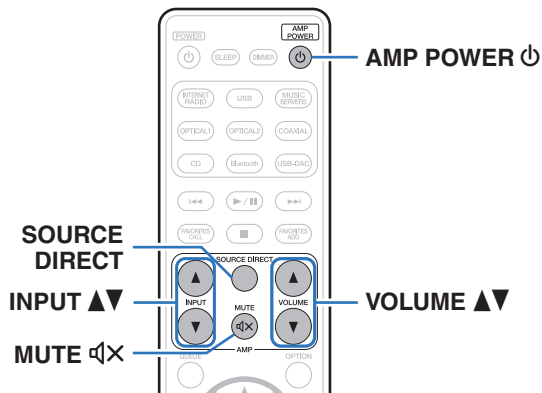
すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

■ 目次

電源を入れる	27
電源をスタンバイにする	27
音声を出力するスピーカーを選ぶ	28
入力ソースを選ぶ	28
音量を調節する	28
一時的に音を消す(ミュートイング)	28
音質を調節する	29
CD を再生する	29
録音する	30



電源を入れる

1 本体の **電源** を押して、電源を入れる。
 選択している入力ソースの表示が青色に点灯します。



- スタンバイ状態から再び電源を入れるときは、リモコンの AMP POWER を押してください。
- スタンバイ状態のときに本体の INPUT SELECTOR を回しても、電源がオンになりません。

ご注意

- 電源を入れる前に、本体の VOLUME を回して、音量を最小にしてください。

電源をスタンバイにする

1 リモコンの AMP POWER を押す。
 電源表示が赤色に点灯します。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、本体の **電源** を押して電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

音声を出力するスピーカーを選ぶ

- 1 **SPEAKERS A/B** を押して、再生するスピーカーを選ぶ。

選択したスピーカーの表示が点灯します。



- ヘッドホンをご使用になるときは、SPEAKERS A/B を押して表示を消灯し、スピーカー端子からの音声出力をオフにしてください。

入力ソースを選ぶ

- 1 **INPUT ▲▼** を押して、再生する入力ソースを選ぶ。

選択した入力ソースの表示が青色に点灯します。



- 本体の INPUT SELECTOR を回しても、入力ソースを選択できます。

音量を調節する

- 1 **VOLUME ▲▼** を押して、音量を調節する。



- 本体の VOLUME を回しても、音量を調節できます。

一時的に音を消す(ミュートイング)

- 1 **MUTE ㊦** を押す。

選択している入力ソースの表示が赤色に点灯します。



- ミュートを解除するときは、もう一度 MUTE ㊦ を押してください。

音質を調節する


- 1 SOURCE DIRECT を押して、ソースダイレクトモードをオフにする。
ソースダイレクト表示が消灯します。
- 2 本体の BASS、MID、TREBLE および BALANCE を回して、音質を調節する。



- 本体の SOURCE DIRECT を押しても、ソースダイレクトモードをオフにできません。

CD を再生する

ここでは、CD の再生のしかたを例に説明します。

- 1 本体の  を押して、電源を入れる。
- 2 INPUT ▲▼ を押して、入力ソースを“CD”に切り替える。
入力表示の“CD”が青色に点灯します。
- 3 CD を再生する。
- 4 VOLUME ▲▼ を押して、音量を調節する。

■ ソースダイレクトモードで再生する

音声信号が音質調節回路(BASS、MID、TREBLE および BALANCE)を通らないため、より原音に忠実な再生ができます。

- 1 SOURCE DIRECT を押して、ソースダイレクトモードをオンにする。
ソースダイレクト表示が点灯します。

録音する

本機に入力した音声信号を、外部の録音機器に出力することができます。本機に接続した再生機器の音声を録音する際、再生機器を本機に接続したまま録音できます。

- 1 本体の **⏻** を押して、電源を入れる。
- 2 INPUT **▲▼** を押して、録音したい入力ソースに切り替える。
選択した入力ソースの表示が青色に点灯します。
- 3 録音をはじめる。
 - 操作のしかたは、録音機器の取扱説明書をご覧ください。

設定のしかた

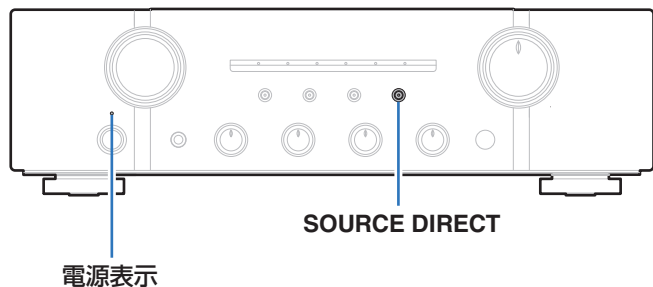
■ 目次

オートスタンバイモードを設定する	32
パワーアンプダイレクトモードを設定する	33

オートスタンバイモードを設定する

音声の入力がない状態で本機を約 30 分間操作しないとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定できます(オートスタンバイモード)。

お買い上げ時は、オートスタンバイモードを“オフ”に設定しています。



オートスタンバイモードをオンにする

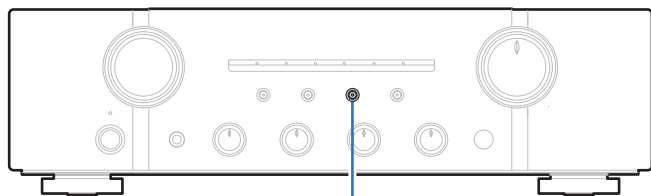
- 1 本体の SOURCE DIRECT を5秒以上押して、オートスタンバイモードをオンにする。
電源表示が 3 回点滅します。

オートスタンバイモードをオフにする

- 1 本体の SOURCE DIRECT を5秒以上押して、オートスタンバイモードをオフにする。
電源表示が 1 回点滅します。

パワーアンプダイレクトモードを設定する

プリアンプを接続して本機をパワーアンプとしてお使いの場合は、パワーアンプダイレクトモードをオンに設定してください。



POWER AMP DIRECT

パワーアンプダイレクトモードをオンにする

- 1 **POWER AMP DIRECT** を 3 秒以上押して、パワーアンプダイレクトモードをオンにする。
パワーアンプダイレクト表示が点灯し、パワーアンプダイレクト入力端子に接続した機器の再生をします。

パワーアンプダイレクトモードをオフにする

- 1 **POWER AMP DIRECT** を 3 秒以上押して、パワーアンプダイレクトモードをオフにする。
パワーアンプダイレクト表示が消灯し、パワーアンプダイレクトモードがオフになります。

ご注意

- パワーアンプダイレクトモードがオンのとき、本機の音量、バランス、音質の調節はできません。それらの調節は本機に接続しているプリアンプでおこなってください。
- パワーアンプダイレクトモードがオンのとき、入力ソースを切り替えることはできません。
- パワーアンプダイレクトモードがオンのとき、本機の音量は最大になります。再生する前に入力側の機器の出力レベルを確認し、音量を調節してください。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

お好みの音質に調節したい	35
原音に忠実な再生をしたい	35
ワイヤリング対応のスピーカーを接続したい	35
本機のリモコンでマランツ製ネットワーク CD プレーヤーを操作したい	35
本機をパワーアンプとして使用したい	35
本機をプリアンプとして使用したい	35

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	37
リモコンで操作ができない	38
音がまったく出ない	39
希望する音が出ない	39
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	40

こんなときの解決方法

お好みの音質に調節したい

- 低音調節つまみ(BASS)、中音調節つまみ(MID)、高音調節つまみ(TREBLE)およびバランス調節つまみ(BALANCE)でお好みの音質に調節してください。(☞ [29 ページ](#))

原音に忠実な再生をしたい

- ソースダイレクトモードをオンに設定してください。(☞ [29 ページ](#))

バイワイヤリング対応のスピーカーを接続したい

- 本機はバイワイヤリング接続に対応しています。バイワイヤリング接続をすることで、高品位な再生をお楽しみいただけます。(☞ [20 ページ](#))

本機のリモコンでマランツ製ネットワーク CD プレーヤーを操作したい

- 本機のリモコンでもマランツ製ネットワーク CD プレーヤーを操作できます。ネットワーク CD プレーヤーの取扱説明書もあわせてお読みください。(☞ [14 ページ](#))

本機をパワーアンプとして使用したい

- パワーアンプダイレクトモードをオンに設定してください。(☞ [33 ページ](#))

本機をプリアンプとして使用したい

- パワーアンプを本機のプリアウト端子に接続してください。(☞ [23 ページ](#))

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(☞ 25 ページ)

電源が自動的に切れる。

- オートスタンバイモードがオンになっています。音声入力がない状態で約 30 分間本機を操作しないでいると、本機は自動的にスタンバイになります。オートスタンバイモードをオフにするには、ソースダイレクトボタン(SOURCE DIRECT)を 5 秒以上押してください。(☞ 32 ページ)

電源が切れ、電源表示が約 0.5 秒間隔で、赤色に点滅している。

- 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。(☞ 43 ページ)
- 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。

電源が切れ、電源表示が約 0.25 秒間隔で、赤色に点滅している。


- スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとはよじり直すか、端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。(☞ 17 ページ)
- 音量を下げて、電源を入れ直してください。(☞ 27 ページ)

電源を入れたときに、電源表示が約 0.25 秒間隔で赤色に点滅している。

- 本機のアンプ回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.6 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.6 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P.6 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。
- リモコンの音量調節ボタン(VOLUME ▲▼ と MUTE )のリモコン操作モードが、マランツ製ネットワーク CD プレーヤーの操作モードになっています。リモコンで本機の音量調節ができない場合は、ENTER と数字ボタンの 2 を同時に 5 秒以上押して、リモコン操作モードをアンプ操作モードに切り替えてください。

音がまったく出ない

スピーカーから音が出ない。

- すべての機器の接続を確認してください。(🔗 [16 ページ](#))
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。(🔗 [17 ページ](#))
- スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締めつけがゆるんでいないか確認してください。(🔗 [17 ページ](#))
- 適切な入カソースが選択されていることを確認してください。(🔗 [28 ページ](#))
- 音量を適切な大きさに調節してください。(🔗 [28 ページ](#))
- ミュート(消音)モードを解除してください。(🔗 [28 ページ](#))
- SPEAKER A/B ボタンの設定を確認してください。(🔗 [28 ページ](#))

希望する音が出ない

特定のスピーカーから音が出ない。

- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。(🔗 [17 ページ](#))
- バランス調節つまみ(BALANCE)を調節してください。(🔗 [29 ページ](#))

ステレオ再生のときに、左右の音声が入れ替わっている。

- 左右のスピーカーが正しいスピーカー端子に接続されているか確認してください。(🔗 [19 ページ](#))

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

レコード再生のときに、音がひずむ。

- 針圧を調節してください。
- レコードの針先を確認してください。
- カートリッジを交換してください。

レコード再生のときに、“ブーン”という雑音スピーカーから出力される。

- レコードプレーヤーが正しく接続されていることを確認してください。(P.21 ページ)
- レコードプレーヤーの近くにテレビや AV 機器などがあると、再生音に影響を受ける場合があります。レコードプレーヤーをテレビや AV 機器などから離して設置してください。

レコード再生のときに音量を大きくすると、“ワーン”という雑音スピーカーから出力される。(ハウリング現象)

- レコードプレーヤーとスピーカーを離して設置してください。(P.21 ページ)
- スピーカーの振動が床を通してプレーヤーに伝わる場合があります。スピーカーの振動をクッションなどで吸収させてください。

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけず修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

用語の解説

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム) という単位であらわします。
この値が小さいほど大きな電力が得られます。

ソースダイレクト

入力された音声信号を、音質調節回路 (BASS/MID/TREBLE/
BALANCE) を通さずに出力するため、より原音に忠実な再生がおこなえます。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。
本機では、異常発生時には電源表示が赤色に点滅し、スタンバイ状態になります。

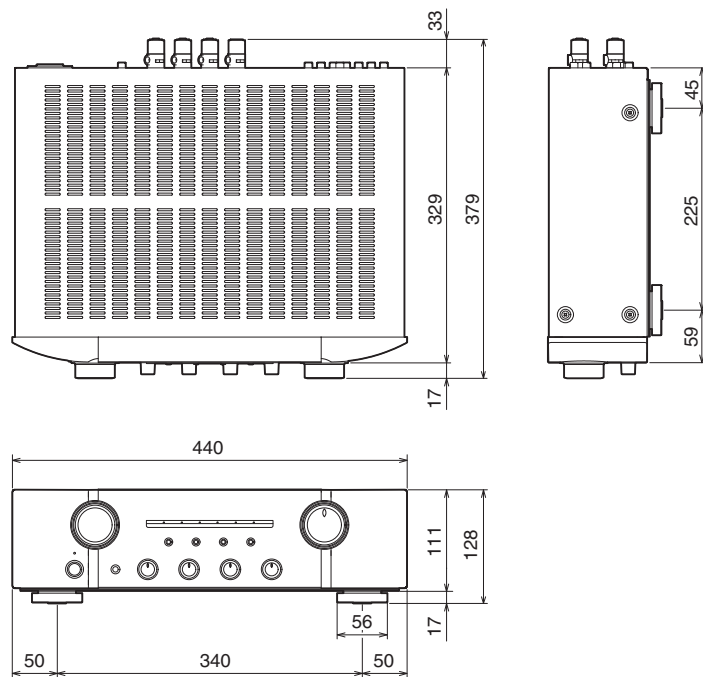
主な仕様

• 定格出力(20Hz~20kHz 両チャンネル同時駆動):	70W×2(8Ω 負荷) 100W×2(4Ω 負荷)
• 全高調波歪率(20Hz~20kHz 両チャンネル同時駆動、8Ω 負荷):	0.02%
• 出力帯域幅(8Ω 負荷、0.06%):	5Hz~60kHz
• 周波数特性(CD、1W、負荷 8Ω):	5Hz~100kHz ±3dB
• ダンピングファクター(8Ω 負荷、40Hz~20kHz):	100
• 入力感度/ 入力インピーダンス	
PHONO(MM):	2.0mV/47kΩ
CD、TUNER、NETWORK、AUX、RECORDER:	220mV/20kΩ
POWER AMP DIRECT IN:	1.6V/15kΩ
• 出力電圧/出力インピーダンス	
PRE OUT:	1.6V/600Ω
• PHONO 最大許容入力(1kHz)MM:	80mV
• RIAA 偏差(20Hz~20kHz):	±0.5dB
• S/N 比(IHF A ネットワーク、負荷 8Ω)	
PHONO(MM):	87dB(5mV 入力、1W 出力)
CD、TUNER、NETWORK、AUX、RECORDER:	106dB(2V 入力、定格出力)
POWER AMP DIRECT IN:	125dB(定格出力)

- トーンコントロール
 - BASS(50Hz) : $\pm 10\text{dB}$
 - MID(900Hz) : $\pm 6\text{dB}$
 - TREBLE(15kHz) : $\pm 10\text{dB}$
- 電源 : AC100V、50/60Hz
- 消費電力 : 220W
- スタンバイ時の消費電力 : 0.2W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:12.0kg

索引

カ

CD プレーヤー 21, 29

ク

オートスタンバイモード 32
音量 28

ク

故障かな?と思ったら 36
こんなときの解決方法 35

ク

スピーカー 17
スピーカーインピーダンス 43

ク

ソースダイレクト 29, 43

ク

チューナー 21

ク

トーン 29

ク

入力ソース 28

ク

ネットワークオーディオプレーヤー .. 21

ク

バイワイヤリング 20
パワーアンプ 23
パワーアンプダイレクトモード 33

ク

プリアンプ 23
ブルーレイディスクプレーヤー 21
フロントパネル 9

ク

保護回路について 43

ク

ミュートング 28

ク

リアパネル 11
リモコン 13

ク

レコードプレーヤー 21

ク


録音機器 22

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 0570 (666) 112


FAX : 044 (330) 1367

- 受付時間 9:30～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- 上記番号をご利用いただけない場合  050 (3388) 6801
〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル
- お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。
<http://marantz.jp/jp/html/faq.html>
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<http://marantz.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 0570 (666) 811

- 受付時間 9:30～12:00、13:00～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- 上記番号をご利用いただけない場合  0466 (86) 9520
- 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
<http://marantz.jp/jp/html/service.html>
- 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2010-16
FAX : 0466 (86) 9522

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

marantz®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

Printed in Japan 5411 11567 00AM

Copyright © 2017 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.